

# SPIT 'EM OUT!

## "it's absolutely raw"

This paper gives y'all hip hop headz the real words from the real scene...

## feature interview

# JUST BLAZE

9月10日に待望の来日が決定しているJUST BLAZE。

DJとしての初来日、一体どんなプレイを見せてくれるのか期待が高まる中、来日に向けての意気込みや、噂のアノ話など、赤裸々に語ってくれた貴重な本誌独占インタビューです。

### ■バックグラウンドを教えてください。

ニュージャージーのパターソン出身。今はNYに住んでるけど。DJを始めたのはまだヨチヨチ歩きぐらいの時だよ。それからオモチャみたいな機材を使ったりして、初めて買ったまともなサンプラーはASR-10。高校生の時だったね。その頃から真剣にビートを作るようになった。でもDJは辞めたことはなかった。どんなプロデューサーでも始めはDJからだろ？でも今はプロデュースの方が忙しいからDJの方はちょっと疎かになってはいるけど。

### ■Producerとして第一線で活躍しているあなたですが、クラブDJとしての来日となると、日本のファンはどういったプレイをするのかと興味津々です。どういったDJ内容になりますか？

特に決まったやり方とかルーティンとかがある訳じゃないよ。むしろ自分のパターンとかを決めるのは嫌だな。オールド・スクールをかけたかと思えば新しいのを混ぜたり、そこからまたビズ・マーキーに戻ったりとか色々だと思うよ。

### ■では、今回持ってくるレコードの数も相当ですね？

いや、去年くらいからアナログを使うのはもう辞めたんだ。トゥー・マッチだからね。今はCDターンテーブルを使ってるんだ。そっちの方がずっと簡単だからね。MP3だったらCD1枚に150曲入れられるからね。友達のパースデー・パーティーの時はCD4枚で十分だったし。クオリティも問題ないし、クラブなんかだったらクオリティ云々というよりは、踊ったり騒いだりしてるから別にそう気にするモンでもないだろ？テクノロジーのおかげで、CDターンテーブルでもカットしたりスクラッチしたりミックスしたり、全部アナログと同じような感覚で出来るようになったし。というかむしろベターかもね。エフェクトとか、アナログの時じゃ出来なかったようなことが出来るようになったから。ヴァイナルを見捨てるという訳じゃないよ。だけどクラブに行く度にクレイツイを何個と持ち歩くなんて大変だし、俺なんかは特に「どれとどれ」ってかけるレコードを決められるようなタイプじゃないから、とにかく全部持って行く事になるだろうし。1週間の旅行でもスニーカーを40足くらい持ち歩く事で知られてる男なんだ。だからCDだと持っている曲は全部持っていけるからね。

### ■日本には何曲くらい持って行く予定ですか？

分かんないな。今から用意を始めないと… だけど俺の性格からすると数千曲にはなるはずだな。ニュー・スクール、オールド・スクール、イースト、ウェスト、ダウン・サウス… という風にラベル分けをして。

### ■最近のNYCでのDJ活動は？

今はイベントがあれば、って感じかな。友達のパースデー・パーティーとか、トヨタが発表したサイオンっていうクルマのお披露目パーティーでも依頼されてやった。後はクラブに出かけた時とかに知り合いのDJが回してたりしたら、サプライズでやったとか。

### ■最近自身のレーベルを立ち上げたそうですが、どのような活動をしているのですか？

ここ1年くらいこの話をしてきたけど、ようやく軌道に乗り始めた感じだね。

第1弾アーティストも契約したよ。サイゴンっていうNYで今一番ホットなMCなんだ。それからR&Bアーティストのデイヴィッド・ヤング。彼のアルバムもここ1年くらいかけてじっくり制作して

来たんだ。一番ピッタリ来るようなサウンドを見つけようとしてたからね。急ぎの仕事はしなくなってきたんだ。この先こいつらの名前はよく聞く事になると思うからチェックしといてくれよ。

### ■「絶妙」かつ「技あり」と「大胆」なサンプリング技法でサンプリングをネクストレベルまで持っていたあなたですが、そのネタ使いのセンスの良さはどこから来ているのでしょうか？ またネタ選びのコツは？

いくつだったかも思い出せないくらい小さい時からレコードを買い続けて来たからね。最低でも2週に1回、気分が乗れば毎日でも買いに行ってるよ。サンプルを探して掘るんだ。視聽させてくれる店とさせてくれない店とがあるけど。コレクター向けの店にも行くし、とりあえず買まくってみて気に入ったプロデューサーとかレーベルがあったらそれを基準にしてまた探してみたりとか。ある方向性を決めて探したりはしない。本当に何がどう化けるかは分からないし、時間をかけて全てをひっくり返して掘り出すしかないんだ。俺のオフィスなんか入ってすぐの壁は2つともレコードで埋め尽くされてるよ。それも去年1年間に買ったやつだけだ。18年間も買い続けてるんだからな。ジャンルは問わない。実験的なジャズとか、ロックとか、とにかく何でも買う。あるループをそのまま使う、みたいな事もあるけど、殆どは自分が気に入った音色やほんの一部とかを加工して使う訳だから。

### ■とても多忙な日々を過ごされていますが、買ったレコードはいつ聴いてるのですか？

「今日はレコードを聴く日」と決めたら1日中籠って片っ端から聴いて行くんだ。まだ聴いてないのが山積みになってるし、それで使えそうなやつを選び出すんだ。誰かのトラックをやらなきゃならないのにまだ出てない、みたいな時はそうやって保管しておいた「山」から何枚かを抜き出して作るんだ。

### ■あり合わせの材料でチャーハン作るみたいなノリですね。

そうそう(笑)。ホントそんな感じだよ。

### ■あなたが曲を制作する時は、ラッパーをイメージしてトラックを作るのですか？ それともビートが先でラッパーを選ぶのでしょうか？

俺がいつもやるのは、そのアーティストを想像して作るパターンか、そのアーティストが全くやった事のないようなものをイメージして作るパターンかのどちらかだね。「いかにも〇〇らしいな」というのか、「〇〇にしては珍しいな」というのか。だから俺のトラックはどれも雰囲気は違ってるんだよな。

### ■あなたのレコードは、日本で爆発的にヒットしていますが、日本のイメージは？

全体的に海外ってそうだと思うけど、とりわけ日本はそうなのかな。俺達は甘やかされてるんだよな。このカルチャーの中に生まれて、その中で暮らしてるから当たり前になってる事ばかりなんだよな。その事に感謝しなくなるんだ。さっきだってクレイグ・マックが通りを歩いているのを見かけたし、そういうのが普通だったりするから大した事だとも思わなくなる。こっちの雑誌の取材にしても、訊かれる質問はごく一般的なものばかりだし。だけど日本の雑誌の取材だと、記事になったのを見ても、凄くこのアートフォームに敬意を表してくれてるっていうのが解るよな。何書いてるのかは読めなかったけど(笑)。俺のやったトラックの元ネタになってるレコードを一つ一つ取り上げて写



真を載せたりとかさ。

俺はこれを持って手に入れるカネは勿論好きだけど、その前にアートとしてやってるから。だから海外とか日本のみんなが示してくれる愛情には本当に感謝してるんだ。それから特に日本はテクノロジーが発達してるからな。俺はそっち方面にもホントに入れ込んでるから。冗談抜きに、マジで日本から帰って来ないかもしれないよ(笑)。スニーカーと電気機器が俺の人生だから(笑)。

日本はまだ見ぬ俺の第2の故郷だ。

### ■JUST BLAZEという名前の由来は？

もともと特に名前は無かったんだ。ただのJUSTだったから。初めて手がけたプロジェクトがメイストだったんだけど、その時に名前を訊かれて「ジャストだよ」と答えたら「それじゃつまらない」とか言われて、「もっとマシな名前を考えろ」とって。それで俺が作ったトラックが流れたスタジオに誰かが入って来て、「ヨウ、そのトラックはホットだな!」とか言い出して、「じゃあジャスト・ホットって名前はどうだ?」とか周りが言っていて、それじゃダメから却下になって。でもその「ホット」っていうセンでジャスト・ブレイズになったんだ。それでも俺は気に入ってなかったんだけど。でも他に思い浮かばなかったし、とりあえずそれに落ち着いて、って感じ。もしかしたら近いうちに名前を変えるかもしれない。彼女は駄目だって言うけどね(マネージャー氏が冷たい視線を送る)。本名のジャスティンで行こうかな。

### ■今後の予定は？

ファボラスのアルバムでもやってるし、マライヤ・キャリーの今度のアルバムでも何曲かやってる。ジョー・バドゥンと、メンフィス・ブリークもそうだし。あとは自分のレーベルの事もあって、他にも色々手がけているものは沢山あるから相変わらず忙しいね。

### ■多くのファンが楽しみにしていると思います。そんなファンにメッセージを。

俺も本当に楽しみにしてきたんだ、やっと念願の日本に行ける事になって嬉しいよ。ハーレムで会おう!

### ■最後に、個人的&他のプロデューサーも聞きがかった質問ですが、最近の作品での鬼スクラッチは本当にやってるのですか？ 一部ではPro Tools上で作業しているのではないかと…

あれは全部レコードでやってるよ。エフェクトをかけたりはしてるけど、Pro Toolsでスクラッチを作るやり方なんてあるのか? ジェイ-Zの「Dreams」っていう曲ではレコードとCDターンテーブルを両方使って作ったスクラッチの音があるけど。サウンドとピッチを変えたりして。「ずるい」とか言うやつらもいるけどテクノロジーは進んで取り入れてかきや。そういう時代だよ。!!

### ■All time favorite

○DJ (TOP 3)  
これは難しいな。パーティーDJとレコードの上でのDJとバトルDJといるから。それぞれに違うしね。それを全て合わせたとして…  
プレミア、スクラッチ、キッド・カプリ、ミスター・シー、ピート・ロック、  
あとはエクセキューションズ。スクラッチ・ピクルズよりもソウルがあるからな。

○MC (TOP 3)  
ジェイ-Z、ナズ、ビッグ・ダディ・ケイン、  
X-克蘭のブラザー・J、MFドゥーム。

○Producer (TOP 3)  
ピート・ロック、Dr. ドレー、Q-Tip、マリー・マール、RZA、ラージ・プロフェッサー、  
ダイヤモンド・D。絞れないから全部言った。

○曲 (TOP 3)  
これは本当に難し過ぎ。1,5000曲くらいあるな。だから取って自分の作った曲の中で言うよ…  
「You Don't Know」これはエナジーがあった。  
「Oh Boy」これはクリエイティビティの賜物。  
「Hovi Baby」  
「Roc The Mic」これは3分もかからないで出来た曲なんだ。

○ネタ (TOP 3)  
ライブラリー・レコーズはとりあえず基本。  
67年~76年までのロックとソウル。